2026年11月13日

各　位

会社名　株式会社マイクロアド
代表者名 代表取締役　社長執行役員　渡辺 健太郎
（コード番号：9553　東証グロース）
問合せ先 常務執行役員　コーポレート本部長　福田　裕也
（TEL.050-1753-0440）

2026年９月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年５月15日に公表しました2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1.　2026年９月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	17,788	1,024	952	678	24円26銭
実　績　値　（B）	20,452	1,114	1,003	760	27円87銭
増　減　額　（B−A）	2,663	89	51	82	
増　減　率　（%）	15.0	8.8	5.4	12.2	
（参考）前期実績（2025年９月期）	15,670	613	531	195	7円10銭

２．差異の理由

当社グループの事業はデータプラットフォーム事業の単一セグメントでありますが、セグメントを構成する主要なサービスとして、データプロダクトサービス、コンサルティングサービスの２つのサービスによって事業展開しております。

当連結会計年度の売上高は、データプロダクトサービスが概ね計画どおりに推移した一方、コンサルティングサービスが計画を大きく上回って推移したことにより、通期連結業績予想を上回る結果となりました。サービス区分別の状況は以下のとおりです。

データプロダクトサービスの2026年９月期の売上高は従来予想107.3億円に対して107.2億円（差額：-0.3億円 / 比率：-0.2%）、売上総利益は従来予想36.8億円に対して37.2億円（差額：+0.3億円 / 比率：+1.0%）と、概ね計画どおりの着地となりました。従来予想に対する進捗率としては、「UNIVERSE」の自社プラットフォームは売上高進捗100.5%・売上総利益進捗101.7%と

堅調に推移した一方、当期より注力しております他社プラットフォームは、売上高進捗97.9%・売上総利益進捗98.9%と、立ち上がりが計画をわずかに下回りました。

コンサルティングサービスの2026年9月期の売上高は従来予想70.5億円に対して97.5億円（差額：+26.9億円 / 比率：+38.1%）、売上総利益は従来予想21.0億円に対して24.6億円（差額：+3.6億円 / 比率：+17.1%）と計画を大幅に上回りました。従来予想に対する進捗率としては、海外コンサルティングは、日本と海外を横断したクロスボーダーマーケティングにおいて複数の大手顧客の獲得が進んだことで売上高進捗167.3%・売上総利益進捗125.4%と計画を大幅に上回りました。メディアコンサルティングにつきましても、既存契約メディアとの取引が想定以上に拡大し、売上高進捗111.0%・売上総利益進捗104.4%と計画を上回って推移しました。

なお、売上高の上振れ幅に比して売上総利益の上振れ幅が小さくなっておりますのは、特に海外コンサルティングにおいて相対的に売上総利益率の低い取引の構成比が高まったことによるものです。

以上の各サービスにおける売上総利益の増加に加え、生産性向上施策によるコストコントロールが寄与し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも業績予想を上回る結果となりました。

以　上